



2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 P R I S M B i o L a b
代 表 者 名 代 表 取 締 役 竹 原 大
(コード番号：206A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 武 内 伸 治
(TEL. 0466-53-8383)

営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年9月期第2四半期会計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)において、下記のとおり営業外費用(為替差損)及び特別損失(減損損失)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用(為替差損)の内容

当社は、2025年9月期第2四半期会計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)において、為替差損28,724千円を営業外費用に計上いたしました。これは主に当社が保有する外貨建預金を期末時点の為替レートで評価替えしたことにより生じたものです。

2. 特別損失(減損損失)の内容

当社が2025年9月期第2四半期会計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)において新たに設置した設備について、事業収益の観点から帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失30,909千円を特別損失に計上いたしました。今回の損失計上は研究開発機能の拡充を目的とした設備投資を実施した結果であり、当社の推し進める自社開発事業、共同開発事業の拡大に必要となる積極的な先行投資によるものであります。

3. 業績に与える影響

2025年9月期第2四半期会計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)において、上記のとおり、為替差損28,724千円を営業外費用に、減損損失30,909千円を特別損失に計上いたしました。以上の結果、2025年9月期中間期会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日)において、累計で為替差益26,251千円を営業外収益に、減損損失40,800千円を特別損失に計上いたしました。これらは、本日公表の「2025年9月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映されております。

以 上